

大友 花恋が『ゼクシィ』表紙に初登場

宮古島の花に囲まれたドレスショットに本人も「うっとり」

撮影を通じて変わった結婚観や人生設計も告白

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：牛田 圭一）が4カ月に一度発行するウェディング情報誌『ゼクシィ国内リゾートウェディング 2025 Summer & Autumn』（2025年4月23日発売 ※一部地域を除く）の表紙に、女優、タレント、モデルなど幅広い活躍を見せる大友 花恋さんが登場しますので、概要をお知らせします。大友さんは『ゼクシィ』初登場で、撮影の舞台は沖縄県宮古島。花に囲まれたドレスショットに本人も「うっとり」する場面も。撮影を通じて変わった結婚観や、人生設計についても聞きました。

■ 海を望むチャペルでの撮影に「『あ、ここで結婚式がしたい』と思いました」

撮影は沖縄・宮古島の大自然の中で行われました。「今回 10 年ぶりの沖縄で、宮古島は初めて訪れたのですが自然の恵みが日常に溶け込んでいて、浄化されるような気持ちでした」と語るように、自然に包まれたロケーションが大友さんの表情をよりナチュラルに彩りました。中でも、花々に囲まれた表紙撮影は「自然の中のお花もきれいなのに、それが完璧に配置されていて幻想的でした」とうっとり。夕日を背景にしたカットも印象深かったそうで、「撮影の最後だったこともあり、チームの一体感もあって、『終わってほしくない』と思っていました」と振り返ります。撮影のためにさまざまなドレスに袖を通すなかで、「どれもタイプが違うけれど、全部好きでした。自分の式なら…と自然と想像してしまいますし、やっぱり着てみないと分からないことってあるなと思って。皆さんが結婚式を前にドレス選びに悩まれる気持ちがよく分かりました」と語ってくれました。

チャペルでの撮影の際には、「『あ、ここで結婚式がしたい』と心から思いました。海を見ながら式を挙げられて、開放感があって」と大興奮。「結婚式っていろいろ決めることがあるし大変そうというイメージがあったけれど、こんなに開放的な気持ちになれるなら絶対にやりたい。大切な人たちを連れてきて、みんなにも見せてあげたいって感じました」と結婚式に対する考えにも変化があったことを明かしてくれました。



2025年4月21日

■ 「『ゼクシィ』撮影はもっとドレスカタログみたいかと…」 イメージにギャップも

小さいころから「かわいいお洋服」に憧れて芸能界に飛び込んだという大友さん。「憧れの究極の姿」ともいえる、ウエディングドレスでの撮影なのでとても楽しみでした」と笑顔で語りました。撮影前には『ゼクシィ』のバックナンバーやSNSをチェックし、「『ゼクシィ』はもっとドレスカタログのようなイメージでしたが、実際は自由でおしゃれで、自分らしいポーズをとろう」と決めていたそう。『ゼクシィ』は「私よりももっと大人のイメージがあって、正直、自分自身結婚について深く考えたことがありませんでした。でも今回の撮影のお話をいただいて考えてみると、同世代にも結婚している人はいるし、私も少しづつ考えてみようかなという気持ちになりました」としみじみ答えてくれました。

■ 「できれば29歳までに出会い、31歳で結婚…」 大友さんの公私の人生設計とは？

インタビューでは自身の恋愛観や理想像についても率直に語ってくれました。「恋愛観っていうのはあんまりないんですが、恋愛リアリティ番組に出演する中で、“好き”という気持ちはもっとシンプルでいいんだと気づきました。私はつい理由やタイミングを探してしまっていたけれど、感覚的に“この人だ”って思える気持ちを大切にしたい」と決意表明。理想の夫婦像には「お互いを尊敬し、尊重し合えること」を挙げ、「うちの父が母のことを大好きで、母も『パパはすごいんだよ』って私たちにもよく言っていて、そういう姿は見ていて憧れます」と教えてくれました。理想のプロポーズについては「夜景の見えるレストランで『結婚してください』って指輪をパカっとしてもらう、そんな王道シチュエーションに憧れます」と照れながら話し、結婚式については「私はこんな仕事しているのに目立つのが得意ではないので少し照れます…。でも家族に感謝を伝えたり、大切な人たちに素敵な景色を見せたりする場としてできたらいいなと思っています」と芯のある思いも語ってくれました。

プライベートでは29歳までに理想の人と出会って、31歳ごろに結婚、できればその後に子どもも…という人生設計を描いている大友さん。「お仕事はお芝居からスタートして、雑誌、バラエティなど、いろんなジャンルに挑戦してきました。今年の1月には小説を出させていただいて、これからもまだやったことのないジャンルにもどんどん挑戦して、自分の表現の幅を広げていきたいです」と語ってくれました。

■ アザーカット



2025年4月21日

■ 出演者情報



大友 花恋 Karen Otomo

1999年10月9日生まれ、群馬県出身。

雑誌『Seventeen』で専属モデルを務め、現在は、『MORE』専属モデルとして活躍中。

ABEMA『今日、好きになりました。』ではレギュラー見届け人を務める。

短編小説集『ハナコイノベル。』(集英社オレンジ文庫)が発売中。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>